

目次	お知らせ	315
	評議員選挙結果等報告／岩崎郁子・高橋邦夫	315
	第4期会長挨拶／山本好和	316
	日本植物学会シンポジウム「日本地衣学の過去と現在，未来」のご案内	316
	会務報告	317
	第5回日本地衣学会秋田ワークショップ（2007.9.7-9）報告／山本好和・奥田智子	317

お知らせ News and Announcements

評議員選挙結果等報告

Election Result of the JSL Councilors / IWASAKI Ikuko & TAKAHASHI Kunio

岩崎郁子*・高橋邦夫**：*選挙管理委員長・**評議員議長

(1) 会員投票による選挙結果の報告

日本地衣学会会則第11条ならびに「役員等の選出についての細則」に基づき，評議員選挙（2008年1月15日×切）が行われました。開票は，次期役員（山本好和会長，小峰正史幹事（庶務），原光二郎幹事（会計））を含む6名の立会いの下，得票数の集計と確認が厳正に行われました。得票の多い順に5名の通常会員が選出され，2008年度からの新評議員の皆様は以下になりました（カッコ内は得票数，敬称略）。

安齊 唯夫 (26)
木下 靖浩 (23)
岡本 達哉 (17)
坂東 誠 (13)
高橋 邦夫 (12)

(岩崎郁子：選挙管理委員長)

(2) 評議員議長・追加評議員・監事の決定

評議員選挙を受けて，新評議員の間でメール会議を開催しました。まず互選により高橋が議長に選ばれ，次いで，「役員等の選出についての細則」第4条に基づき追加評議員として竹仲由希子先生を指名しました。また，同6条に基づき，評議員間の互選により岡本・坂東の両氏を監事として選出しました。

(高橋邦夫：評議員議長)

第4期会長挨拶

Compliments from the President / YAMAMOTO Yoshikazu

遅くなりましたが、日本地衣学会第3期（2006 - 2007）会長に引き続き第4期（2008 - 2009）会長に選任されましたので、ここにご挨拶させていただきます。

日本地衣学会は創設6年を経て、他学会、例えば日本菌学会や日本植物学会に認知されるようになってきました。また、海外地衣研究者、特にアジアの地衣研究者との交流も進むようになりました。会員数は創設時には約70名であったものが、今は倍の人数になっています。



山本好和：日本地衣学会会長，秋田県立大学

大会での発表も毎大会15件前後を数え、Lichenologyの原稿も海外からの寄稿も含めて順調に投稿されています。青空教室やワークショップなどその他学会行事もこれまで順調に進んでいます。会員諸氏のご協力のためものと感謝申し上げます。

第3期では、海外との交流と国内会員の待遇内容充実という運営方針のもとに、海外（アジア）研究者の学会大会での発表を促し、また国内会員に対しては有功会員制をスタートしました。第4期では、さらに海外との交流と国内会員の待遇内容充実を進めたいと考えています。また、他学会との交流も進める必要があると感じています。

来る7月5日～7日には秋田で第7回大会・シンポジウムが開催されます。東京や京阪神の都会を離れた初めての大会となります。是非、皆様のご参加を大会運営スタッフともどもお待ちしております。

第4期役員を下記にご紹介します。

会長：山本好和，庶務幹事：小峰正史，会計幹事：原光二郎，編集委員長：原田浩

評議員：高橋邦夫（議長），安齊唯夫，岡本達哉，木下靖浩，竹仲由希子，坂東誠

監事：岡本達哉，坂東誠

《编者注：今年度大会前に投稿いただいた原稿です》

日本植物学会シンポジウム「日本地衣学の過去と現在，未来」のご案内

Announcement of symposium "The past, present and future of the Japanese Lichenology" at 72nd Annual Meeting of the Botanical Society of Japan at Kochi, September 2008 / YAMAMOTO Yoshikazu

山本好和：秋田県立大学

今年の日本植物学会大会は、高知大学で開催されます。そのとき、標記シンポジウムを開催しますので、ご案内いたします。

時：2008年9月25日，13時30分～16時30分）

場所：高知大学，C会場。

オーガナイザー：山本 好和

* * *

プログラム概要：

吉村 庸（服部植物研究所）： 日本地衣学の歴史
原田 浩（千葉県立中央博物館）： 地衣類の分類
原 光二郎（秋田県立大学）： 地衣分子生物学
木下 薫（明治薬科大学）： 地衣成分の化学
竹下 俊治（広島大学）： 地衣共生藻の科学

佐藤 和彦，小杉 真貴子（兵庫県立大学）：

地衣類の乾燥生理
小峰 正史（秋田県立大学）： 地衣類の培養と栽培
総合討論

会務報告 Report of the JSL Activities

第5回日本地衣学会秋田ワークショップ報告

Report of the 5th JSL Akita Workshop, 17 – 21 September 2007 / YAMAMOTO Yoshikazu & OKUDA Tomoko

山本好和¹⁾・奥田智子²⁾： ¹⁾ 秋田県立大学・²⁾ 関西大学

秋田で開催されるワークショップも今回で5回を数える。参加者は主として秋田県立大学の3年生であるが、例年学外からの参加者が数名あり、学生ともども楽しいひとときを過ごして頂いている。詳しい内容は奥田さんが下記紹介しているのでそちらを御覧頂きたい。次回第6回は2008（平成20）年8月8日～12日に開催する予定である。青空教室は白神山地のふもとの素波里湖を考えている。8月は日中の暑さは関東や関西と変わらないものの夜は涼しい。長丁場ではあるが、是非秋田に「来て

たんせ」。

山本好和（秋田県立大学）

2007（平成19）年8月17日～21日の日程で秋田県立大学にて開催された、地衣類ワークショップに参加しました。5日間で初級講座、森吉山での青空教室、培養編、分析編、遺伝子編という幅広く充実した内容で大変勉強になりました。まず初級講座では、地衣類の分類や特徴などについて教えていただいた後に、実際に地衣体と顕微鏡を用いて、地衣体や子器の断片を作成し観察する実



図1. 青空地衣教室の様子。

験と、ウメノキゴケについて呈色反応と顕微結晶法の実験を行いました。不器用な私には地衣体の薄い断片を作るのは難しく、やっと観察でき写真で見た様な断面が見られたときは感動しました。その後は、懇親会があり、大学の学生さんが作ってくださった食事を頂きながら参加者の方々といろんなお話をしました。青空地衣教室は、先生方の運転で森吉山に行き、山本先生について歩きながら様々な地衣類を観察しました(図1)。関西での地衣類観察会には何度か参加したことはあるのですが、今回は参加者の皆さんの分野が多様で、観察も地衣類だけにとどまらず、粘菌やきのこなどにも及ぶような、いつもと少し違った観察会でした。森吉山の様なブナの森の中には初めて行ったのですが、すごく気持ちの良い所で、また関西とはやはり生育する地衣類の種類が違ふと感じました。培養編は、ペアを組んで地衣体の子器を用いた胞子放出芽実験と、地衣体を破碎しての組織培養の両方を行いました。胞子の放出は、私が行ったものでは見られませんでした。他の方のものが1つ成功していて無事観察できました。また、組織培養の試験管は、わがままを言って大阪まで持って帰らせて貰いました。持って帰った後にも様子を見ていたところ、藻類が1本分離できていて良いおみやげと記念になりました。分析編は、地衣体のアセトン抽出液を作製し、それをTLC(薄

層クロマトグラフィー)とHPLC(高速液体クロマトグラフィー)の両方法で分析するという内容の実験でした。同地衣体を用いて、TLCでは実際に目で見て分析を行い、HPLCでは機器による分析結果を確認しさらに細かく分析するという内容で、地衣類の成分について詳しく知ることができました。遺伝子編は、地衣体から抽出したDNAの特定領域をPCR法で増幅、その後制限酵素処理し、処理後のサンプルを電気泳動して比較を行うという実験を行いました。PCR法での増幅の有無や、DNAの増幅領域内の制限酵素による切断の有無により、地衣体や地衣菌、藻類の差を見るというもので、様々なサンプルでの結果の差が目に見えてわかりやすかったです。また、空いた時間には研究室や、大学内を案内して頂いたり、研究室のみなさんのお茶の時間にお邪魔したりとワークショップの内容以外にも毎日いろんな面白い体験ができました。今回、秋田には初めて滞在したのですが、涼しくて過ごしやすく、食事もおいしいものが多く帰阪するのが残念でした。最後に、ワークショップでご教授して下さった山本先生始め秋田県立大学の先生方、良い勉強をさせて頂きまして本当に感謝しています。また参加者の方々、秋田県立大学の学生さんにも本当にお世話になりました。ありがとうございました。

奥田智子(関西大学)

●複製される方へ

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌 80号 290ページに。

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No. 80, p. 290 of this publication.

●*Newsletter from the Japanese Society for Lichenology*, no. 87, pp. 315-318: eds. Harada H. & Kinoshita K., published by *the Japanese Society for Lichenology*, 30 July 2008.

日本地衣学会ニュースレター 87号

発行日：2008年 7月 30日

編集：原田 浩・木下 薫

発行者・発行所：日本地衣学会

〒010-0195 秋田市下新城中野

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科内

©2008 日本地衣学会 (© 2008 The Japanese Society for Lichenology)

本誌記事の著作権は日本地衣学会に属します。無断転載・無断複写等は固くお断りいたします。